

令和元年度決算に係る  
定期監査資料

令和2年5月

鳥取看護専門学校

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	収入証紙取扱額調べ	5
7	現金の取扱状況	5
8	財産に関する調べ	5
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付及び使用許可調べ	6
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	7
11	職員駐車場の管理状況調べ	7
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	7
13	備品の処分状況調べ	8
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	8
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
15	当該年度における業務の概要	9
16	学生の入退学等移動状況調べ	9
17	学校卒業者の就職状況調べ	9
18	教育計画とその実績	9
19	主な施設の整備状況調べ	9
○	意見、要望等	10

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和2年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	
定員	0	0	9	9	0	0	9	9	
現員	0	0	(0) 10	(0) 11	0	0	(0) 10	(0) 11	
過不足(△)	0	0	1	2	0	0	1	2	
臨時職員									
非常勤職員	2	2	5	5	0	0	7	7	事務員2名、内部講師1名 外部講師4名

4 役付職員の調べ

(令和2年5月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
校長	(兼) 廣岡保明	年 0	月 1	中央病院長
副校長	西川淳子	2	1	通算：3年1月
副校長 兼教務主幹	川口久美代	2	1	
教務主幹	澁谷さおり	2	1	通算：7年1月
課長補佐	(兼) 福田成生	4	1	出納員 東部地域振興事務所 課長補佐

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取看護専門学校管理運営費	19,973	0	14,711	5,262
鳥取元気プロジェクト	I 人を元気に II 地域包括ケアを支える医師、看護師、薬剤師、介護人材等の育成・確保			
元気づくり総合戦略	2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む ～鳥取＋住む～ (2) 人財とっとり ・地域を支える人財の育成			
<p>(概要)</p> <p>1 教育内容の充実</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 看護を取り巻く環境の変化に伴い、教育内容の充実と、学生の看護実践力を強化する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 学校自己評価の実施 学校運営委員による学校運営評価や学生による授業評価・学校評価を実施し、学生の声を教育に取り入れて教育内容の改善や改革を図った。</p> <p>② 学内における看護技術教育の充実 ・看護技術演習に必要な教材備品を整備した。 ・看護技術演習の指導員を配置し、継続して指導体制を強化した。 ・教員の力量形成を図るため、積極的に県外研修に派遣した。</p> <p>③ 臨地実習の充実 ・延べ45の実習施設と調整、実習指導者との連携を図り実習施設確保と円滑な学習展開を図った。</p> <p>イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>○ 甲南女子大学秋元典子教授を招き「看護基礎教育課程における実習指導のあり方」について研修会を開催し具体的な実習指導について学んだ。参加者は今までの職員及び東部実習指導者から、さらに中部県立病院の実習指導者と看護学校に広げた。</p> <p>ウ 成果及び効果</p> <p>○ 在宅看護論実習の訪問看護ステーション実習で新規施設を開拓し、看護師等養成所における実習施設の変更承認がされ、実習施設の確保ができた。</p> <p>○ 令和元年度内部改修工事で新玄関により必要な下足箱の予算と、令和2年度内部改修2期工事でシミュレーション室の2室完成に伴い必要なベッド等の備品予算の確保ができた。</p> <p>○ 鳥取県地域医療介護総合確保基金を活用し、装着型摘便シミュレーター、筋肉注射モデル、滅菌パックシーラー等、看護実践力向上のため教材整備ができた。</p> <p>エ 課題</p> <p>○ 修学支援新制度の機関要件である学校関係者評価委員会を令和2年度には整備し、学校自己評価と学生アンケート評価について協議し、教育内容の課題を明確化していく。</p> <p>○ 第1期内部改修工事新玄関に合わせて教室の窓の取替えや雨漏り修繕工事をしたが、依然新たな雨漏りが発生しているので、老朽化している学校施設の学習環境を改善する必要がある。</p> <p>○ 教員の力量形成は継続が必要であり、学内研修や県外研修など今後も努力する必要がある。</p> <p>○ 学内看護技術演習の教材整備の予算要求を継続的に行う。</p> <p>2 看護師国家試験対策の強化</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 看護師国家試験対策の充実を図り、合格率を高める。</p>				

(イ) 事業の実施状況

①模擬試験、補強講義、国家試験オリエンテーション実施

- 3年生 ・ 模擬試験 9回実施（模擬試験結果を保護者に通知し、受験勉強への協力を依頼）  
・ 補強講義 16時間（解剖学・循環器・内分泌・肝臓）  
・ 国家試験対策特別講義 1日外部専門業者（12月2日40名）
- 2年生 ・ 模擬試験 3回実施  
・ 特別講義 半日 外部専門業者による国家試験対策の実施（10月1日38名）
- 1年生 ・ 模擬試験 2回実施

②国家試験対策の教員研修への継続参加

③模擬試験結果に基に、全員に個人面談を行い学習計画の立案、模擬試験結果を分析し、弱点を補強した。

④保護者を対象に学校生活・臨地実習・国家試験への取り組み・進学就職について情報交換会を開催した。  
（1～3年生保護者：令和元年7月19日（金）39名出席）

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

○国家試験対策特別講義は外部専門業者を変更し、講義内容については模擬試験結果に基づいて実施依頼

ウ 成果及び効果

○国家試験結果

- ・平成29年度卒業生39名受験 合格者38名（97.4%）〔全国平均：91.4%〕
- ・平成30年度卒業生36名受験 合格者36名（100%）〔全国平均：89.3%〕
- ・令和1年度卒業生40名受験 合格者38名（95.0%）〔全国平均：89.2%〕

エ 課題

①3年次は、臨地実習等の学習と国家試験の学習を並行することが難しい。このため、低学年から自ら学ぶ学習姿勢を身に付けるよう、今後も指導していく必要がある。

3 学生の確保及び学習支援体制の強化

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

入学定員40名を確保するとともに、優秀な人材の育成を行う。

(イ) 事業の実施状況

①入学定員の確保

オープンキャンパスによる学校PR、推薦指定校を訪問、説明し推薦・社会人入試及び一般入試を実施した。

○オープンキャンパスの実施

対象：看護学校への進学を希望する高校生や保護者、社会人

内容：学校の概要説明や施設見学、モデル人形等を用いた看護技術体験

実施日：6月23日（土）参加者170名（平成30年度117名）

○推薦指定校の進路担当者との訪問懇談（10校、7月中～下旬）

②学習支援体制の強化

○学年担当教員による定期的な面接の実施。また、成績不振者へのきめ細やかな支援を実施した。

○スクールカウンセラーの利用促進のためカウンセラーによる講話を企画した。

○保護者会を開催し、学校と保護者との連携を強化した。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

○学生募集ポスターを刷新し、公共施設や実習施設等に掲示を依頼した。

ウ 成果及び効果

○令和2年度応募者数は、前年度より少し減少した。

令和2年度入学試験

応募者：93名（推薦12名、社会人7名、一般74名）（前年度 98名）

入学者：35名（定員：40名）

○成績不振を理由とした休学者や退学者の減少を図ることができた。

年度当初：4月末在校生 124名

年度末：3月末 在校生 123名

1年生 41名（休学者1名：体調不良、復学者1名）

2年生 39名（休学者2名：経済的理由、復学者2名、退学者1名：進路変更）

3年生 43名（休学者1名：進路検討）

## エ 課題

○一般入試の合格者は大学進学者が多く、一般入試合格者のうち入学者33%（前年度48.8%）と減じている。看護師養成施設との競合の影響もあるが、高校生数の減少による入学生確保の苦慮が予測される。

## 4 県内就業の促進

### ア 目的及び事業の実施状況

#### （ア）目的

県内就業を促進し、県内の看護職員の充足に努める。

#### （イ）事業の実施状況

①4月に鳥取県看護職員修学資金制度について積極的にPRした。

②3年生対象に、不得手とする就職応募書類の記載方法や自己PRの方法についてハローワーク職員による研修を実施した。

③就職活動ノートを作成、就職ガイダンスを1年生から実施し、3年生4月当初には進路意向について面談をした。

④就職に関する特別講義を実施した。（3年生：面接試験の秘策、自己PR書の記載方法等）

⑤図書室の就職コーナーを整理、オープンホスピタルを案内（全学年）し、県内医療機関の就職情報の提示した。

### イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

○2年次にビジネスマナー講師を招き模擬面接を行い、希望する医療機関等に就職できるように支援した。

### ウ 成果及び効果

○卒業生数は、40名（就職者：36名、その他4名）

就職者36名中県内出身者35名、そのうち県内就職者32名（県内就職率：91.4%）

○就職に関する特別講義を実施し、就職試験に安心して臨むことができ、希望する医療機関に就職できた。

## エ 課題

○令和元年度の県内就職率は、91.4%（昨年度96.6%）であり、引き続いて県内定着の促進を図る。

○コロナウイルス感染症の拡大で、病院見学の中止、就職ガイダンスが中止となり就職活動に影響している。学生が万全の体制で就職試験に臨むことができるように、学生の志望を把握し、必要とされる特別講義の企画、ハローワークと連携し就職支援の工夫ができるようにしていく必要がある。

6 収入証紙取扱額調べ  
 (有) ・ 無

7 現金の取扱状況 該当なし

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通 財産の 区分	機界名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動 日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日		面積 (㎡)
行政 財産	鳥取看護 専門学校	鳥取市 江津260	1,468.58	205,727,434	増加	H				1,468.58	205,727,434	
					減少	H						
行政 財産	自転車小 屋	鳥取市 江津260	19.05	3,267,600	増加	H				19.05	3,267,600	
					減少	H						
計												
合計												

ウ 山林 該当なし

エ 動産 (船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機) 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

(有) ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和2年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本 年 度 中		本年度未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
34 枚	60 枚	40 枚 51,000 円	54 枚

9 財産の貸付及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通 財産の 区分	使用許可 目的	所在地	面積	使用許可年月日	当初使用許可 年月日	使用許可期間	使用料 (円)		使用許可先 住所 氏名	備 考
							単価	本年度の 使用料		
行政財産	生徒用複写機 設置	鳥取市江津260	0.64 m <sup>2</sup>	H31.3.11	H19.4.1	H31.4.1~ R2.3.31	年額 免除	年額	鳥取市江津260 鳥取県立徳野専門学校総務課長	19-00321114
行政財産	自動販売機設 置	鳥取市江津260	1.04 m <sup>2</sup>	R2.1.20	R2.1.20	R2.2.1~ R6.1.31	年額 3,320	年額 3,320	鳥取市徳一丁目351-2 鳥取ペパゴコーポレーション株式会社 代表取締役 奥村 元昭	19-00259498
計										
合計										

(2) 物品 該当なし



10 借受不動産印帳照会

(令和2年3月31日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況				借受先		備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円)		住所氏名		
							単価	本年度の借料			
土地	宅地	学校敷地	鳥取市江津260	619,28㎡	有	S54.7.20~無制限	月額・年額	無料	鳥取市江津730 鳥取県立中央病院院長		
土地	宅地	駐車場敷地	鳥取市江津260	49,52㎡	有	H15.4.1~無制限	月額・年額	無料	鳥取市江津730 鳥取県立中央病院院長		
土地	宅地	学校敷地	鳥取市江津260	159,00㎡	有	H27.8.17~無制限	月額・年額	無料	鳥取市江津730 鳥取県立中央病院院長		
土地	宅地	駐輪場敷地	鳥取市江津260	197,035㎡	有	H27.8.17~無制限	月額・年額	無料	鳥取市江津730 鳥取県立中央病院院長		
合計								0			

11 職員駐車場の管理状況照会

該当なし

12 寄附物件の受納状況照会

(令和2年3月31日現在)

品名	規格、銘柄等	数量	見積金額	寄附申込年月日	寄附申込者	受納年月日	受納の有無	備考
図書		1	1,365円	R1.8.29	個人	R1.9.10	有	
図書		11	25,906円	R1.8.29	個人	R1.9.10	有	
合計		12	27,271円					

13 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分			備 考
			売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	
骨格模型	昭和52年 4月1日	令和元年 7月18日	棄却		令和元年 7月31日	円
女性導尿練習器他	昭和57年 3月31日/ほか	令和元年 7月26日	棄却		令和元年 7月31日	
浣腸練習モデル他	平成2年 6月15日/ほか	令和元年 12月23日	棄却		令和元年 12月24日	
合 計						

14 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ  
 (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ  
 無

(2) 物品の照合  
 有

15 当該年度における業務の概要

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| (1) 教育内容の充実          | 主な事業に関する調べに記載のとおり |
| (2) 看護師国家試験対策の強化     | 主な事業に関する調べに記載のとおり |
| (3) 学生の確保及び学生支援体制の強化 | 主な事業に関する調べに記載のとおり |
| (4) 県内就業の促進          | 主な事業に関する調べに記載のとおり |

16 学生の入退学等移動状況調べ

(単位：人) (令和2年3月31日現在)

区分	入学進級 直後の 学生数	月 別 異 動 状 況													差 引 現在数	備 考	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計			
看護学科	第1学年	休学							1						1	41	
		退学													0		
		復学	1												1		
		除籍													0		
	第2学年	休学	2							1					3	39	留年
		退学											1	1	1名		
		復学						1	1					2			
		除籍												0			
	第3学年	休学	1												1	43	卒業延期
		退学													0		2名
		復学													0		
		除籍													0		
合計	休学	3						1	1					5	123		
	退学												1	1			
	復学	1						1	1					3			
	除籍													0			

17 学校卒業者の就職等状況調べ

(単位：人) (令和2年3月31日現在)

区分	就 職							進学	その他	合計	備 考
	県 内			県 外			計				
	公的 医療 機関	民間 医療 機関	その他	公的 医療 機関	民間 医療 機関	その他					
平成 29年度	32	5	0	0	0	0	37	1	1	39	
平成 30年度	26	2	0	1	0	0	29	4	3	36	
令和 1年度	29	3	0	1	3	0	36	0	4	40	

18 教育計画とその実績

\* 基準欄の数値は学則で定めた時間 (単位：時数) (平成31年3月31日現在)

学科名等	基準	第 一 学 年			第 二 学 年			第 三 学 年			
		計 画	実 績 A		計 画	実 績 B	計 A+B	計 画	実 績 C	計 A+B+C	
看護学科	第1学年	学 科	990	1,007							
		実習課程	45	45							
	第2学年	学 科	990	1,019	855	846	1,865				
		実習課程	45	45	180	180	225				
	第3学年	学 科	990	1,003	855	864	1,867	135	135		2,969
		実習課程	45	45	180	180	225	810	810		1,035

19 主な施設の整備状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

1 教育体制の整備

(1) 専任教員の定員増

保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づく養成所の指定基準では専任教員の数は8名以上と定められ、令和元年度の定数は9名（実数11名）である。しかし、実習施設の拡大や学習指導に多大な時間を要する学生の増加、膨大な教務事務の処理のため現人数の対応が限界であり、出産、子育て時期の職員の割合も多く、子育てのしやすい職場にする必要がある。

平成25年度の組織定数要求で非常勤講師1名の配置が認められ、今後とも会計年度任用職員（講師）の定数化をお願いしたい。

(2) 監査委員事務局に対する要望等

(例：日程、調書様式、その他監査に関する要望、改善点等)